

中学校・第1学年・総合的な学習の時間・海洋学習①

育成を目指す資質・能力

沖縄県提供

実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。

ICT活用のポイント

自分の活動の様子を写真や動画で撮っておくことで、記録を残したり、客観的に自分を見つめ直したりすることができ、資料を整理・分類して表現する際にも活用できる。

①課題の設定

島の現状・把握(エネルギー問題)

②情報の収集

調べ学習・情報のまとめ

場面①

③整理・分析

資料の作成

④まとめ・表現

まとめた内容を発表

場面②

事例の概要

今回、紹介する事例は、地域の協力を得つつ、ICT端末を活用して、調べ学習から発表まで、探究のプロセスを意識した実践である。

- ①課題の設定…島の現状を考え、海の学習を「海を知る」「海を守る・活かす」の2つの視点で課題を設定し、具体的な行動計画を立てる。
- ②情報の収集…自分たちの浜の現状や海のサンゴを観察し環境問題について情報を集める。また、再生可能エネルギーである風力、太陽光、波力について実験しながら、情報を収集する。
- ③整理・分析…海的环境マップを作成したり、実際に島の電力をまかなうためには、どの程度の規模の発電装置が必要なのかを考える。
- ④まとめ・表現…新聞にまとめたり、CM動画を作成したりして、発表を行う。

中学校・第1学年・総合的な学習の時間・海洋学習①

【事例におけるICT活用の場面①】



図1：調べ学習をする際に、写真や動画で情報を集める

【事例におけるICT活用の場面②】



図5：まとめた内容を発表する

【活用の場面①：情報の収集】

図1：海を活かした再生可能エネルギーについて調べ学習をしている様子。

図2：島の海について校外学習の様子。生き物等を探索し、写真や動画で記録をとることができる。

図3：調べたことをまとめ、共有できる。

【活用の場面②：整理・分析、まとめ・表現】

図4：ICT端末を使って資料を作成している様子。

図5：1学期の学習のまとめを発表している様子。

図6：海洋教育子どもサミットにウェブ会議システムを活用し参加。

図7：新聞にまとめたり、動画編集ソフトを活用して作成したCM動画をウェブ会議システムを使って発表。その後、他県の児童生徒とも意見交換をすることができる。

【児童生徒や教師にとってのICT活用のメリット】

- ・探究のプロセスが写真や動画、資料等で容易に視覚化できる。
- ・資料がデータ化されているので、振り返りができる。
- ・他県の児童生徒とも意見交換をすることができる。



図2：写真・動画記録



図3：調べた内容を発表



図4：資料作成



図6：オンラインで会議参加



図7：遠隔で発表

【活用したソフトや機能】 動画編集ソフト・ウェブ会議システム・学習支援ソフト・カメラ機能・プレゼンテーションソフト